

令和7年度第3回紋別警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和7年12月12日（金）午後4時00分から午後5時00分まで

2 開催場所

紋別警察署 大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 6名（定員7名）

副会委員	桜木 恵美
長員	関町里哲也
	長尾幸補
	横山智子
	田中彩子
	鎌田夏

(2) 警察署 8名

副署会計課	柴崎 健太郎
署署課	平清一
長長課	山田裕基
長長課	佐藤樹秀
長長課	森藤章彦
長長課	會田邦彦
長長課	中川昌彦
長長係	中川彦彦

4 副会長挨拶

5 警察署長挨拶

6 業務概況説明

令和7年11月末における

- (1) 刑法犯の認知・検挙状況
- (2) 交通事故発生状況

7 協議テーマ（諮問事項）における協議状況

(1) 協議テーマ

「冬型交通事故の特徴」について

冬型交通事故の特徴と紋別警察署管内の現状を説明し、冬型交通事故防止対策として、「レッド警戒活動の強化」「道路管理者との連携」「信号機、標識などの視認性確保」について推進することを説明した。

あわせて、交通事故発生時における「110番通報」、「負傷者の救護」、「安全確保」などの対応について説明した。

(2) 質疑応答

委員 レッド警戒活動とは、どのようなものですか。

警察 パトカーが赤色灯を点灯させながら管内を巡回し、ドライバーに対して、安全運転を促し、交通事故への警戒意識を高めてもらうことを

	目的とした活動になります。
委 員	110番通報をすると、どこにつながるのですか。
警 察	鹿との交通事故でも、110番通報してもいいのですか。
	当署管内で110番通報していただくと北見方面本部地域課通信指令室につながります。
	鹿との交通事故でも遠慮なく、110番通報をしてください。
委 員	吹雪のため天候が悪く、視界不良の時に交通事故を目撃した場合、通報したいのですが、停止するのも危険だし、どのように対処すればいいですか。
警 察	そのような場合は、まず、安全な場所に車両を停止後、通報してください。
委 員	スリップ事故以外に注意すべき冬型の交通事故はありますか。
警 察	中小路や交差点角の雪山などが死角となり、左右の安全確認が出来ないまま走行することで車両、歩行者と衝突する事故があります。運転される方には、雪山等による死角の先に潜む危険を認識してもらい、慎重な安全確認を徹底していただきたいと思います。
委 員	冬道は、急ハンドル、急発進、車間距離に気をつけたいと思いますが、このほかに気をつけることがあれば教えてください。
警 察	防衛運転に努めてもらいたいと思います。 例えば、青信号に変わって発進する場合には、「スリップして停止出来ずに突っ込んでくる車があるのではないか。」と考え、一呼吸おいて安全を十分確認してから発進するとか、雪山等で見通しが悪い場合には、「雪山の影から車が来ているのではないか、歩行者が飛び出してくるのではないか。」などと考え、最徐行で徐々に進行して安全を十分に確認するなど、常に危険を予測し、事故を未然に防ぐ『防衛運転』を習慣にしてください。
委 員	フロントガラス部分だけの雪を落とし、屋根や後部ガラスの雪を落とさないで走る車を見かけますが、そのような車を注意することはできますか。
警 察	道路交通法第70条には「車両等の運転者は、当該車両等のハンドル、ブレーキその他の装置を確実に操作し、かつ、道路、交通及び当該車両等の状況に応じ、他人に危害を及ぼさないよう速度と方法で運転しなければならない。」と規定されており、これに抵触する可能性があることから注意、指導することができると考えられます。 運転中に雪が落ちて運転者の視界を遮るなど大変危険な行為ですから、適切に注意するなど改善指導して、危険な状態を解消してまいります。

8 次回開催予定

令和8年2月頃